

猫もっと仲良くなれる 3つの猫コミュニケーション術

その1
“さわられて嬉しい”
ポイントを探してみよう!

毎日の触れ合いは、健康チェックに役立つ他、「さわられるのに慣れる」という意味でもとても大切です。 →p.22



ペットマッサージ・牧田先生&プーくんに聞きました!

その2
抱っこ大好きな
子になろう!

嫌がる子もありますが、抱っこできると助かる場面も多いです。おやつを使って練習してみませんか? →p.24



獣医師・村田先生&ねこずちゃんに聞きました!

その3
じゃらしテクで、
夢中にさせよう!

室内で過ごす猫にとって、“遊び”は大切な運動+刺激。刺激が全く無いことはストレスにもつながるんです。 →p.25



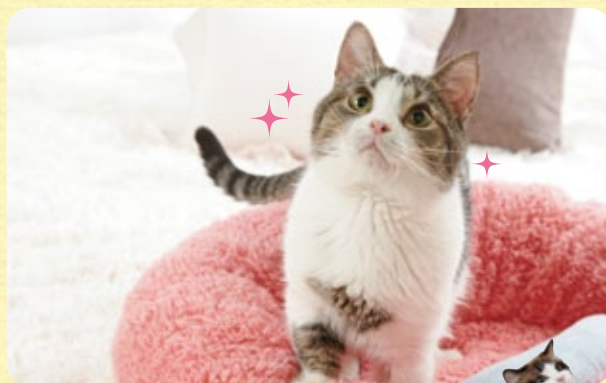
猫カフェさん&じゃらし名人に聞きました!



その前に、猫のきもち・気分をチェック!

コミュニケーションがとりやすいのは、猫がご機嫌のとき

飼い主さんの近くに寄ってきたとき。
➤ 体をさわる・抱っこをするチャンス



飼い主さんに近寄ってくるのは構ってほしいとき。体をさわってあげると、のどを慣らしてゴロゴロいったり、抱っこも受け入れてくれやすいタイミングです。



リラックスしてまどろんでいる時。
➤ 体をさわる・お手入れをするチャンス



活発に動いている時は、さわられるのを嫌がることも。ゴロンと横になってウトウトしていたり、リラックスしている時に、さりげなく触れてあげれば、あまり嫌がられずすみませす。ただし、抱っこなど猫の眠りをさまたげるようなことはやめてあげてください。

機嫌が悪い時は…そっとしておくのが正解



機嫌が悪い時のサイン

- 目がつり上がる
- 耳を伏せる
- しっぽをパタパタ
- 毛が逆立つ など

同居猫とケンカをしたり、怖いことがあった時などは気が立っています。しかも猫は1度機嫌が悪くなると、回復するまで時間のかかる動物。そんな時は、落ち着くまで部屋にひとりきりに。「かわいそうに!」「どうしたの!？」となだめようとする、かえってパニック状態になり、飼い主さんを引っ掻いたりしてしまうこともあるため、危険です。

目指せ!
好かれる飼い主さん

絆を深める
猫コミュニケーション術

コミュニケーション
=愛猫のことを知ること。

愛猫にはもちろん、喜ぶことをたくさんしてあげたい!

でも、“うちの子の喜ぶこと”ってどんなことか知っていますか?

愛猫が好むコミュニケーションの方法を見つけて、もっと仲良くなっちゃいましょう♪



コミュニケーションがうまくいくと、
こんなにいいことがあります!

体の異変に気づける

毎日撫でたり、さわってあげることで「今日は右足をさわられたくないみたい」「しっぽにしこりがあるかも?」などちょっとした変化に気づけます。

お手入れにも役立つ

体をさわること慣れていけば、ブラッシングや顔まわりのお手入れなどを受け入れてくれやすくなります。

もっと仲良くなれる

気持ちいいこと・楽しいことをしてくれる飼い主さんのことを大好きに♪

イイコト
いっぱい♪



お話を伺ったのは…

もみの木動物病院・獣医師
村田 香織先生



パピークラス、問題行動を持つ犬猫のカウンセリングも担当。株式会社イン・クローバー代表取締役。お家では4頭の猫ちゃん、4頭のわんちゃんに愛される飼い主さん。

愛猫の“さわられて嬉しい”ポイントを探してみよう!



“さわられる=気持ちいい”と思ってもらうことが、ふれあいの第一歩! さわられて気持ちいい所はそれぞれなので、愛猫の好きなポイントを見つけてあげてください。

さわること=愛猫のことをもっと知るチャンスです!

どこをさわったら喜ぶのか、嫌がるのかを知ることは、大切なコミュニケーション。「うちの子、右足より左足が太いんだ!」などの情報は、ふれあう機会がないと知ることができないことです。猫ちゃんの様子を見ながら、喜ぶポイントをたくさん見つけてあげてください。



教えてもらったのは…

ペットウェルネス
牧田 明美先生
& ブーくん(スコティッシュ)

“ペットマッサージ”について海外で学び、インストラクターの資格を取得。現在はベビィ動物看護専門学校の講師も務める。

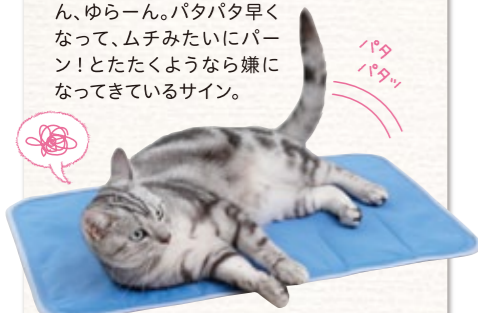
気持ちよさそうだったのに…いきなりガブッ! どうして?

撫でられて嬉しい場所は、急所である場合が多く、「リラックスしすぎは危険!」と本能的に噛んだり蹴ったりしてしまうんです。

こんなサインが出たらやめ時!

・しっぽをパタパタ、ピシッ

気持ちいいときは、ゆらーん、ゆらーん。パタパタ早くなって、ムチみたいにパーン!とたたくようなら嫌になってきているサイン。



・のびーっと伸びをする

伸びをするのは気持ちいいからなのですが、横になってお腹を出している時にお腹をさわると猫キックが始まるかも…。

★猫は長時間じっとしているのが苦手。短時間から始めて、嫌がるそぶりを見せたらすぐにやめてあげてください。

背中

手のひら全体でやさしく撫でる。

頭のとっぺんから、しっぽの先まで、毛並みに沿って軽く撫でてあげます。毛並みに逆らう撫で方はNG。



肩・首

軽く押すようにマッサージ。

肩甲骨から腕の付け根までを、指先で押していきま。ごく軽い力加減で。



牧田先生がおすすめポイントとさわり方をご紹介します!

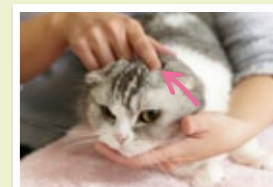
顔まわり

人差し指でゆっくり撫でる。

猫の顔は小さいので、人差し指だけで十分。耳・目・ひげのまわりの筋肉は良く動かすため疲れやすい部位。撫でることで筋肉をゆるませてあげることもなります。

♡ひげのまわり

♡耳の付け根



♡頭のとっぺん

※目・鼻まわり、あごの下なども嫌がらなければやってあげても。



ココは嫌がる子が多いかも…

足先・肉球 敏感な部分なので、嫌がること多い部分。

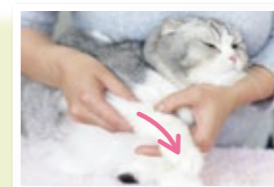
お腹 最大の急所のひとつ。嫌がらないなら、指3本くらいで円を描くようにマッサージすると、便秘が軽減されることが。

★嫌がるポイントも猫それぞれ。この他の箇所でも、嫌そうなら無理はしないで。

前足・後足

さすりおろすような感じで。

腕の付け根から足先に向かって撫でおろすイメージ。掴まれる感覚は嫌うので、掴まないように注意します。



「さわられるのが苦手!という子は…」

「気持ちいい♪さわり方のコツ」

上手にさわってね!



村田先生より

ブラッシング嫌いの子も、歯ブラシで慣らしてあげるといいですね。

猫は顔が小さいので、毛玉さえなければ顔まわりのブラッシングは歯ブラシでも十分。皮膚へのマッサージ効果もあります。



村田先生の愛猫・もみひろちゃんも歯ブラシ大好き!



歯ブラシなどで撫でてあげるのもおすすめ。

最初は手以外の物で撫でるのでもOK。歯ブラシは猫の舌の感触に似ていて、好きな子が多いといえます。

手の甲で撫でてあげて。

手の平を怖がる子は「掴まれる!」と思うのかも。手の甲なら安心してくれやすいです。あとは短時間から慣らしてあげて。



さわる手つきもいろいろ試してみよう!



指3本を使い、円を移動させていく。



指先で筋肉を軽くもむ。

コツ1

やさしく、ゆっくりが鉄則!

スピードが早いと、イライラ・せかせかした気持ちに。ゆっくりさわること、リラックス効果があります。また、筋肉をほぐしてあげることもなります。

コツ2

愛猫が好むさわり方を見つけてあげて。

様子を見ながらちょっとずつ弱くしたり、強くしたり調節してあげてください。とろ～んとした表情は気持ちいいサイン。逃げたようなら嫌がっています。

★始める前に…

- 飼主さんも愛猫も落ち着ける環境で。
 - アクセサリや時計は外します。
 - 静電気に気をつけて。
- パチッとびっくりさせてしまうと、さわらせてくれなくなることも。乾燥する季節は濡れタオルで手を湿らせて。



じゃらしテクで、猫を夢中にさせよう!

遊びに誘っても、のってきてくれない…。それはじゃらしの動かし方に問題が!?
遊び方のコツを、猫カフェさんとカフェ常連のじゃらし名人に聞いてきました!

コツは、鳥や虫など獲物になりきることで!

単調な動きだと飽きてしまうので、いろんな動きを組み合わせます。



教えてもらったのは…
猫喫茶「猫の箱」
スタッフ藤田さん&
カフェ常連のじゃらし名人
→お店の情報はp.29へ

その① 鳥のつもり!
パタパタ・ブンブン!
大きく振って。



動きだけでなく、音も猫の気を引くポイント!「鳥がいるの?」と思わず目で追ってしまいます。羽付きタイプを上下左右に大きく動かして「パタパタ」!

その② 虫のつもり!
ピタッと止めたリ、
じりじり動かしたり。

動かしてばかりだと、うまく狙いを定められず、飽きてしまうことも。光を反射するフィルムなどがついたじゃらしだと気を引きやすい!



その③ ねずみのつもり!
もぞもぞ隠したり、
キラッと見せたり。

ブランケットの下でもぞもぞさせたり、たまにチョロッとのをぞかせたり。素早い動きが重要です。



村田先生より

飼い主さんと“一緒に遊ぶ”方が、猫もきっと楽しいはず。

遊びは、室内で365日過ごす猫にとって、とても大切な運動。ひとりだけで遊ぶより、飼い主さんがじゃらしを動かしてあげるのが飽きにくく、一緒に時間ができて猫も嬉しいと思います。



やりがちNG

顔の近くでパタパタ…は逆効果かも!

気を引きたくてついやりがちですが、逆に興味を失うことが多いみたい。少し遠くからカサカサ、チラチラ見えるほうが、狙いたくなるようです。



遊び疲れて大満足!



最後に…

「観察」も飼い主さんだからしてあげられるコミュニケーションのひとつです。

かわいい仕草や思わぬ行動で私たちを楽しませてくれる猫たち。見ているだけでもおもしろいですよね。そんな毎日の“観察”も愛猫のことを知るためのコミュニケーションのひとつ。「あれ?いつもとちがうかも?」と思うことがあったら、それは体の不調のサインかも。獣医師にご相談ください。



ここを観察! Check Point

- 動作**
 - 歩きにくそう
 - 高い所へのぼりにくそう・降りにくそう
- 食事**
 - 食べるのがいつもより遅い
 - 食べ散らかしている(いつもはしないのに)
 - 猫は口腔内の病気が多いと言われ、口の中が痛いと言われます。
- 便・尿**
 - 色やニオイがおかしい
 - 出ない・少ない
 - 軟便をしている

抱っこ大好きな子になろう!

苦手な子が多い抱っこですが、うまくできれば愛猫を安心させてあげられる手段にもなります。そして何より、猫を抱っこするって癒されます♪



村田先生&ねこずちゃんに教わる
やりやすい抱っこの手順



1 手をそえる

猫が前に行かないように、胸を軽く片手でおさえます。反対の手をやさしくお腹の下へ。



2 持ちあげる

お尻の下を支えるように手を差し入れ、持ち上げます。

3



抱え方のポイントは3つ!

Point
前足の下に腕を通して、やさしく体を包みます。

Point
足をつかまれるような感覚は苦手なので、避けてあげて。

Point
おしりを支えてあげると、安心します。

抱っこができると、ボディチェックにも役立ちます。



ねこずちゃんは肉球マッサージが大好き!

飼い主さんが座ってひざの上で猫を抱っこすれば、普段は確認しづらいおなかや足がチェックしやすくなります。

他にも…

- ★キッチンのコンロなど降りてほしいところから抱っこで降らせる。
- ★不安な時に落ち着かせてあげられる。

成功!



繰り返して「抱っこ=いいこと」と覚えてくれれば大成功です。

ひざの上で、おやつをあげます。



ひざの上に乗ってきたらおやつをあげます。おやつに集中している間に、体をさわって慣れさせてあげて。

大好きなおやつでひざの上に誘導します。



飼い主さんがイスに座っている状態で、おやつの香りをかがせて、だんだんひざの上へ…

抱っこはちょっと苦手…と言う子は、おやつを使って、抱っこ大好きになろう♪



おやつ好きなら、おやつに集中している間は、体をさわられたりしても気にしない子が多いよう。抱っこに慣れてもらおうチャンスです。

村田先生より

抱っこは猫ちゃんから近づいてきたときなど、構ってほしいときがベストタイミング。眠っているときなどに無理にしようとする、抱っこを嫌いになってしまいます。また、慣れていない子は時間と根気がいります。嫌がるようなら無理しないでくださいね。



抱っこ大好きだよ!